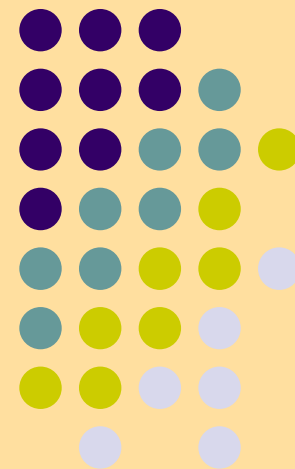
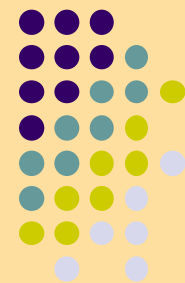


九州工業大学 情報教育支援士養成プログラム

2010. 4. 22



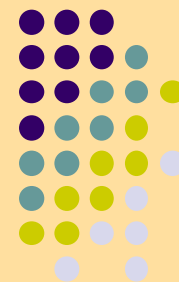
九州工業大学
大学院情報工学研究院
西野和典



「情報教育支援士」のニーズ

- 学校教育での情報教育
⇒ 指導者不足・支援者不足
 - 生涯学習での情報教育
「学童保育」
⇒ 指導者不足（放課後学習チューター）
「高齢者大学」「カルチャースクール」
⇒ 指導者不足
- ➡ 大学で支援者・指導者を育成

平成19年度 文部科学省委託事業
「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」



九州工業大学の取組

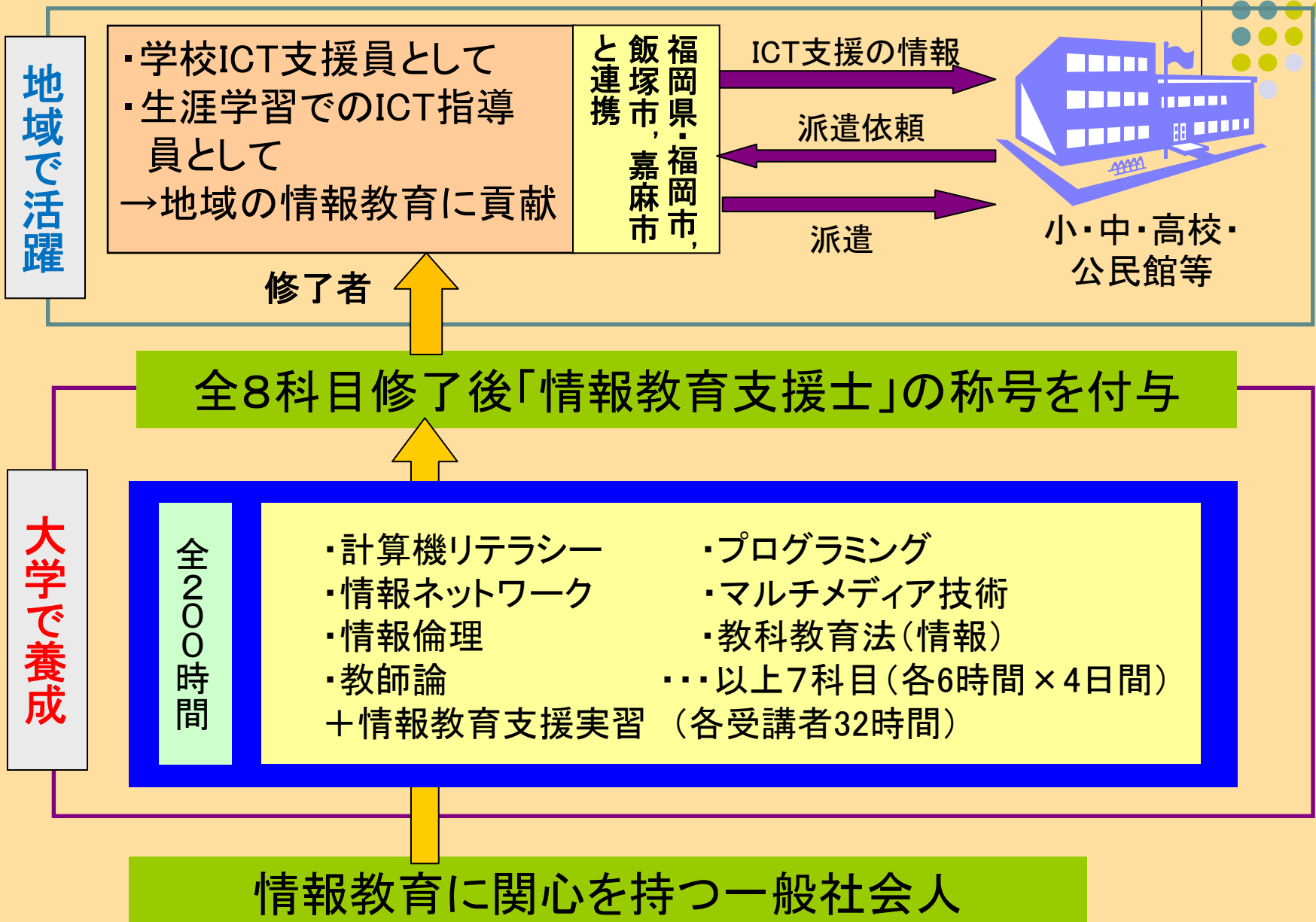
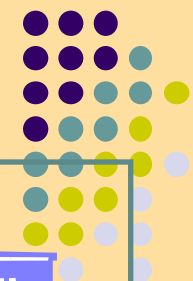


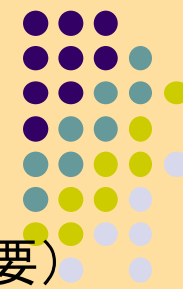
「初等中等教育および生涯学習のための
情報教育支援士養成プログラム」
(H19年度～21年度)

情報教育支援士の役割

- 小・中・高等学校および生涯学習の現場で、情報教育の授業支援を行う
- 情報システム担当専門員として教育施設のコンピュータやネットワークの管理・運用の仕事を行う

情報教育支援士養成プログラムの概要





プログラムの実施内容

【受講対象】情報教育に関心がある社会人。(大学入学相当の学歴が必要)

【定員】20名 * H20年度の受講申込み者は155名

【達成目標】

- ①小・中・高等学校および生涯学習の現場で、コンピュータやネットワークの基礎的な活用について、わかりやすく指導できる能力を身につける
- ②情報教育実施に必要なコンピュータやネットワークを適切に準備し、管理する能力を身につける

【実施期間】5月～12月(実習は9月～翌年2月まで実施) (21年度まで)

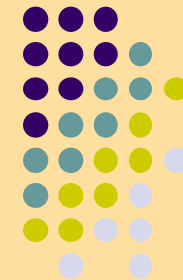
【開講日時】土曜・日曜に開講(社会人に配慮)。授業は90分×4コマ。

【開講場所】情報工学部と福岡市天神の本学サテライト(同時中継授業)

【履修証明】所定の8科目修了で「九州工業大学情報教育支援士」の称号を授与 → H20年度以降の修了者は、「特別の課程」の履修証明も授与

受講者募集

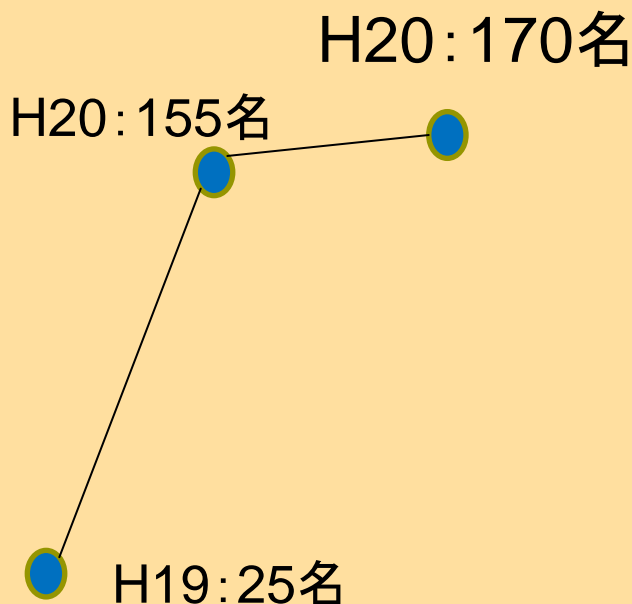
<http://www.josi.kyutech.ac.jp/>



新聞各紙、Webページで募集：

H21年度：170名の応募

(平均年齢：49歳)



The screenshot shows the website for the Information Education Supporter Training Program at Kyushu Institute of Technology. The page features a blue header with the university's name and logo. The main content area includes a navigation menu, a list of contents, and a detailed recruitment notice. The notice specifies the course name, purpose, and content of the program. A prominent red circular badge on the right side of the notice states "受講無料" (Free of charge).

情報教育支援士養成プログラムへのご案内...

KIT WELCOME TO KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY 国立大学法人九州工業大学

初等中等教育および生涯学習のための
情報教育支援士養成プログラム

情報教育支援士養成プログラムへの参加者を募集いたします。一般の方を対象に養成いたします。

HOME | 詳細 | 地域貢献 | 募集要項 | 授業風景 | アクセスマップ | Q & A | お申込み | お問い合わせ | プライバシーポリシー

CONTENTS

- 情報教育支援士養成プログラム詳細
- 情報教育支援士養成プログラム募集要項
- 地域貢献への取り組み
- 授業風景
- アクセスマップ
- Q & A
- お申し込み
- お問い合わせ

文部科学省委託事業

「平成20年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

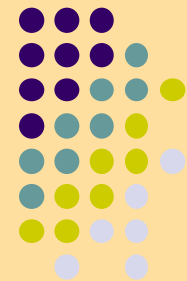
情報教育支援士養成プログラム募集要項

- 課程の名称/初等中等教育および生涯学習のための情報教育支援士養成プログラム
- 目的/小・中・高等学校から生涯学習に至るまでの情報教育支援者の養成を行います。
- 内容/情報教育支援士に必要なコンピューターやネットワークの基礎的な

受講無料

インターネット | 保護モード: 有効 100%

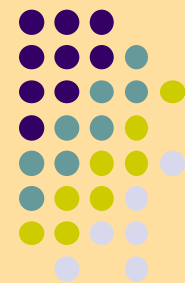
2会場を結ぶ同時中継授業



福岡市天神サテライト

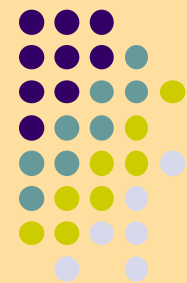
飯塚キャンパス





情報教育支援実習

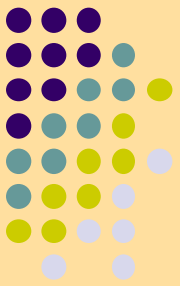
- 福岡県飯塚市および嘉麻市の教育長に、小・中学校への実習受け入れの要請
- 両市の校長会，教頭会に情報教育支援実習の内容を説明，受入れを要請
- 小・中学校や生涯学習
 - H19年度は約70件，H20・21年度は約80件実施
- 範囲：飯塚市，嘉麻市，福岡市の一部で実施



履修証明

- 大学での通常の講義と同様の成績の評価
 - 5分の4以上の出席＋レポート、課題提出や筆記試験を求める
 - ⇒ 専門家としての能力と質（企業派遣とは異なる）
- 九州工業大学最初で唯一の「特別の課程」として実施
- 学校教育法第百五条に規定する「履修証明書」を交付
- 「九州工業大学情報教育支援士」の称号

課題



- 「情報教育支援」を新たな雇用創出として確立できていない。

国の施策(制度, 経費)



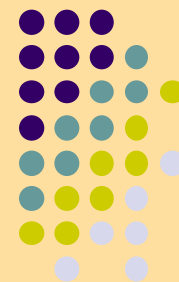
地方の教育行政

教育CIOの
指導力が必要



強い学校現場の要望

- 情報教育支援士 (ICT支援員) 養成のカリキュラムが確立されていない



成果

- 一般社会人を対象に情報教育支援士（ICT支援員）養成のモデルを創ったこと
- 小・中学校、生涯教育で情報教育の支援システムを構築しつつあること
- 小・中学校、生涯教育で情報教育の支援活動を行っていること



情報教育力向上に貢献，全国のモデルへ

